

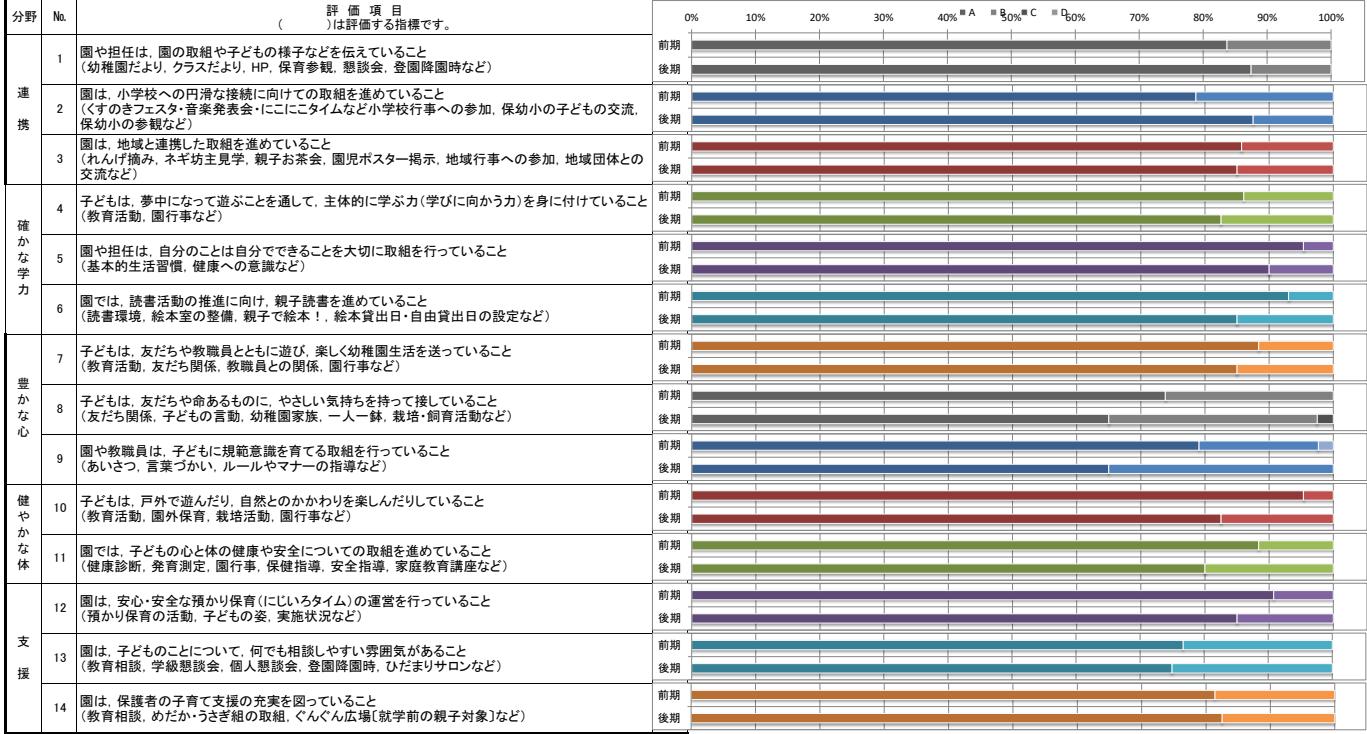
保護者様

## 令和元年度 幼稚園アンケート結果

後期幼稚園アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。保護者の皆様からは40通の回答をいただき、回収率は88.9%でした。

今回は、保護者の皆様からの回答を項目ごとにパーセンテージのグラフで表し、前期・後期の比較をしました。教職員の自己評価、学校運営協議会の理事の皆様からのご意見と併せて、結果・考察をお知らせいたします。

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない



保護者　自由記述より

【連携】

- ・子ども自身の課題、苦手なこととかちゃんと見てもらえて、「今日はこんな感じでしたよ」と報告してもらえるので、ありがとうございます。

## 【確かな学力】

- いつも、自由すぎる我が子を受け止めていただき、ありがとうございます。本当に幼稚園が大好きな様子です。
  - これまで先生にくつづいて遊ぶことが多かったですが、先生がことどもとお反対が自然と一緒に遊ぶように、声かけや遊びの設定をしてくださるおかげで、反対と遊ぶ楽しさを最近すごく感じているようです。ありがとうございます。
  - いつもありがとうございます。頬の立たぬといつい早くしてほしいという気持ちから手伝ってしまうようなことも、いつも最後まで側に見守ってくださり、自分でできたことが子どもの自信につながっていることに感謝するとともに、自分自身も心の余裕をもって子どもと向き合えたら改めて感じました。
  - この1年で、すごく成長を感じさせていただきました。家庭では経験させてあげられないことをさせていただき、先生達の温かいサポートで新たな子どもの姿をたくさん見ることができますが、うれしく思います。ありがとうございます。

【豊かな心】

- ・子どもが毎日楽しく園生活を過ごせているのは、先生方のおかげです。いつもありがとうございます。
  - ・最近、言葉が悪い（お前、死ねなど）ので、家でも注意しているのですが、園でも気付いた時に注意していただいくと、ありがたいです。（多分、してくださっているとは思いますが…。）
  - ・「してはいけないことはいけない」と、もう少しきつく注意することも必要ではないかなと思います。

【支援】

- ・（在園児の意見ではないのですが・・・）

「園外の未就園の保護者から、「竹田幼稚園で預かり保育をしながら働きたいけど、PTAの心配や、周りに働いている保護者（ママ）がいなかつたらやりにくそう。働いている人ってどれくらいいる」と聞かれたことがあります。私自身が情報がほしいのもあり、竹田幼稚園の入園を見視野に入れている方へ十分に情報が伝えられ、少し懸念が思っています。具体的改善策がなく申し訳ないのですが、もし働いているママの割合を教えていただけるようでしたら、個人的にその保護者の方には対応しようかと思います。

- ・さうな事でも相談に乗ってくれる先生方に、とても感謝しています。幼稚園が大好きで、いつもルンルンに通っている姿を見て、嬉しく思っています。
- ・1日のことの様子を教えてくださったり、できしたこと、できなかつことを教えてくださったうえで、それを家庭にフィードバックして意見をするうでの参考にさせていただきます。

にさうになりるので、それを家庭にノイートバックして育児をする上での参考にさせてもらえて助かっています。

- ・担任の先生方は、子ども達一人ひとりに丁寧に関わっていただき感謝しています。先生の人数が増えて、先生方にも子ども達にも、保護者にとっても、よりよい状態になればいいのにと思っています。

はいいのになあと思ひます。  
にじいろタイムの子ども達の人数が20名超える時も、藤田先生一人でみておられる  
ようなので、先生の負担が大きいのでは?と思うとともに、目が行き届いているのか心  
配になった。定員の上限を決めるとか、新2号優先にするなど、改善策があればよいと  
思ひます。

八

【連携】

- ・連携】  
【学級懇談会や保別懇談会、降園時などに、保育や子どもの様子を伝えています。個別のことについては、特に連絡が必要なことから保護者の方にお伝えしていますが、保護者の方から気になることや相談したいことなどがありましたら、お話してください。

### 【確かな学力】

- ・3歳児にとって、入園直後は慣れない環境で不安な気持ちは大きく、先生から離れてくかったり、頬つけて遊び姿が見られました。幼稚園の環境（場所や人）に慣れ、子どもが安心して遊べる環境であると感じて、行動範囲が広くなり、反応力も高くなってきます。いっしょに遊び反応の数が増え、反応力と一緒に楽しさを感じることで、遊びも広がっていきます。4歳児、5歳児といろいろな経験や遊びを積み重ねて、多くの学びを得ています。クラス全体で遊んだり、目的に向かって頑張ったりする姿が見られます。「できた！」や「やった！」子どもの成長を感じ受け止め、認め、褒めることで、達成感や自信につながり、さらに次の目標、活動に向かっていきます。自分から「やってみよう」という主体性を大切にし、タイミングを逃さない声かけや支撐を心かけ、こうしたらもっと楽しめるかも、伸びるかもと試行錯誤しながら、子どもの成長を見守っています。
  - ・保護者の方が子どもの家庭での様子を教えていただくことも、保育へのヒントになりますので、子どもを中心にして連携をしていきましょう。

【豊かな心】

- ・評価項目（8）「やさしい気持ちを持って接していること」、（9）「規範意識を育てる取組」のA（あてはまる）が6.5%で、子ども同士の関わりに課題があると言えます。子どもは、身近な人の話し言葉や本、メディアなどから言葉を獲得していきます。幼児期の子どもは、初めて出会う言葉を、正しい意味や使い方が分からずになってしまることがよくあります。正しい意味や使い方を教えることや、人を傷つけるような言葉を使った時に、言われた人はどんな気持ちになるかなどを考えたり、みんなで話し合ったりしています。私たち大人も、言葉づかいに気を付けていきましょう。
  - ・「してはいけないことはいけない」ことを子どもが理解するように、子どもの発達に応じて指導しています。どのような声かけや指導が、子どもの心に届くかを考えながら関わっています。また、時には毅然たる態度で子どもに関わることも大事だと捉えて、指導していきます。

【支援】

- ・働いている保護者（母親）の割合ですが、就労形態（フルタイム、パートタイム）を問わないなら、約50%くらいだと思います。一番年下のお子たちが入園されると、就労される保護者が多めに思います。預かり保育を午後6時まで行っていますし、幼稚教育・保育無償化による預かり保育無償化（新2号認定）を利用することもできますので、竹田幼稚園への入園を考えておられる方に、お伝えいただけたらありがたいです。また、いつでも幼稚園見学や入園に関するお問い合わせも受けていますので、詳しいことは竹田幼稚園にお問い合わせください。

教員増加の希望は園長会としても聞いていますが、継続して希望を聞いています。  
にじいろタイムの参加人数の上限を決めるることは、保護者の子育て支援や就労支援などの観点から、難しいです。幼稚園行事や取組により、「新2号認定者のみ」の日の設定をさせていただいています。サー前準備でにじいろタイムは参加人数がたいへん多かったので、教員2人体制にしました。参加人数が多く、指導者が確保できる状況かどうかを踏まえながら、指導者の数を調整していくかと思います。

【その他】

- ・誕生会の時に司会する子どもの親も見学OKにしてほしい。（子どもの成長を見る場は、1つでも多い方がうれしい）
- ・毎回思っていたのですが、こちらのアンケートを提出する際、名前の書いた茶封筒での回収ではなく、回収箱など個人の特定ができないようにしてほしいと思います。（思っていること、感じていることが正直に書けないので？）

【その他】

- ・誕生会の子どもの司会については、司会する子どもは1年で1回だけのこと、経験することが大事だと思います。保護者の方が見ておられることで、返ってフレッシャーを感じることもあるかと思うので、保護者の見学は行っていません。
- ・アンケートの回収方法につきましては、率直なご意見をお伺いしたいので、無地の封筒で回収するなど回収方法を改善していくかと思います。

【学校運営協議会理事からのご意見】

- ・No.. 5の項目ですが、確かな学力をつけるため、基本的生活習慣、健康への意識など留意されて指導されていることがよく分かります。先日、女性会で、茶道教室をさせていただきました。園児の皆さん、女性会の講師の先生言うことをよく聞いて、注意深く作法を見学されていたように思います。園児の皆さんには、いろいろな体験をさせてあげたいと思います。これからも、よろしくお願ひいたします。
- ・共働きの今のママ達は忙しくて、少し余裕がないようにも思いますが、いつの時代でも、子育ては大変なものです。そして、不安です。子どもと話すときは、目線を合わせて、ゆっくり話す。子どもの話をよく聞いてあげる。子育て情報は、山のようになります。子育てに答えはありません。でも、パパ、ママの愛情と親達の一生懸命だけだと思います。私達女性会のはあば達も先輩として、皆様の子育てを見守りたいです。幼稚園の職員の皆さん、本当にありがとうございました。
- ・「豊かな心」の項目について、園でもすでに指導していただいているとは思いますが、園任せではなく、各ご家庭でも、どのように子どもたちに接して、注意すべきか、例えば、家庭教育講座などで、そういうテーマで話ををしていただくなど、園と家の両方から、子どもたちへアプローチしていけば良いのではないかと思います。
- ・「支援」について、通常の保育時間、預かり保育の時間、共に教職員の数が増えることが、先生方の負担軽減にもなり、保育の質の向上につながると思います。